

◆湯梨浜町区長アンケート調査結果【全体】◆

問1 貴自治区の世帯数は何世帯ですか

	区	%	対象区数	回答率
1. 50世帯以下	34	50.7%	37	91.9%
2. 51世帯～100世帯	14	20.9%	16	87.5%
3. 101世帯～150世帯	8	11.9%	10	80.0%
4. 151世帯～200世帯	6	9.0%	7	85.7%
5. 201世帯以上	4	6.0%	5	80.0%
未回答	1	1.5%	—	—
合計	67	100.0%	75	89.3%

問2 区民がこの集落に住みつづけるために必要なもの(機能)はどういったものと思われますか。

※該当するものすべて可

	区	%
1. 公的施設の維持(こども園、学校、公民館含む)	46	68.7%
2. 鉄道、路線バス、乗り合いバスなど交通手段の確保やその他外出支援サービス	43	64.2%
3. 雪かき、生活道路、農道等の簡易補修など(除雪機導入、ボランティアなど)	50	74.6%
4. 買い物支援(配達、地域商店の運営、移動販売、ガソリンスタンドなど)	40	59.7%
5. 声掛け、見守りサービス	35	52.2%
6. 健康増進及び介護予防対策(健康教室、認知症予防講座など)	32	47.8%
7. 交流施設カフェ、レストランなど	11	16.4%
8. 子育て対策(地域型保育、放課後こども教室など)	41	61.2%
9. 金融機能・郵便局機能	29	43.3%
10. 医療機関・診療所	36	53.7%
11. 交通安全、消防、防犯、防災体制(地域消防団、自主防災組織など)	34	50.7%
12. その他	1	1.5%

【考察】

「雪かき、生活道路、農道等の簡易補修など」と回答した区が最も多く、次いで「公的施設の維持」、「鉄道、路線バス、乗り合いバスなど交通手段の確保」となっている。

集落の存続には、公的施設や公共交通など生活に不可欠な施設や手段などが必要と感じている区の割合が高くなっている。

問3 自治会活動を行っていく上で課題となっていることは何ですか。

※3つまで選択可

	区	%
1. 役員のなり手が不足、または役員の負担が大きい	42	62.7%
2. 未加入世帯が増加している	1	1.5%
3. 自治会活動に対する関心が年々低下している。活動の参加者が少ない	32	47.8%
4. 新旧住民や世代間の交流が難しい	19	28.4%
5. 活動費が不足している	17	25.4%
6. 他の地域、団体との連携が弱い	8	11.9%
7. 町からの依頼事項が多い	28	41.8%
8. 地域・集落の行事が多く、形骸化している	13	19.4%
9. 集会所、公民館などの運営が困難である	8	11.9%
10. 特に課題なし	3	4.5%
11. その他	6	9.0%
未回答	0	0.0%
合計	177	264.2%

【考察】

「役員のなり手が不足、または役員の負担が大きい」と回答した人が最も多く、次いで「自治会活動に対する関心が年々低下」「町からの依頼事項が多い」という回答になっている。

「役員のなり手不足」は全国的な課題であるが、背景には就業年齢の高齢化等や世帯の少人数化など世帯構造の変化により、介護、育児などの負担増、個を望む価値観の変化があると考えられる。

また行政区など自治組織の担う役割は依然として大きく、国が地域共生社会を目指す中、今後ますます重要性は高まると考えられるが、「町からの依頼事項が多い」など負担に感じている意見も多い。

問4 町から区へどのような支援を望みますか。

※3つまで選択可

	区	%
1. 自治体活動に対する財政的支援	40	59.7%
2. 自治体活動の場の提供	0	0.0%
3. 研修、学習機会の提供等人材の育成	9	13.4%
4. 運営や活動に対する助言	18	26.9%
5. 自治会活動に対する地域住民の意識啓発	19	28.4%
6. 集会所等活動施設への助成の充実	34	50.7%
7. 自治会の統合や再編への助成や支援	0	0.0%
8. 町職員の自治会活動への積極的な参加	0	0.0%
9. 未加入者対策	0	0.0%
10. 特に課題なし	2	3.0%
11. その他	4	6.0%
未回答	0	0.0%
合計	126	188.1%

【考察】

「自治体活動に対する財政的支援」、「集会所等活動施設への助成の充実」との回答が多く、それぞれ、全体の半数以上の回答率となっており、町に財政的な支援を望む区が多い。一方、区の運営や活動に関する支援や人材の育成などいわゆるソフト面に関する支援については回答率が低くなっている傾向にある。

問5 今後、区として持続可能な集落づくりとして取り組んでいきたい活動は何ですか

※該当するものすべて可

	区	%
1. 自主防災組織の設置や防災訓練等の防災活動	42	62.7%
2. 子どもの見守り、パトロール、防犯灯管理等の防犯活動	40	59.7%
3. 高齢者などの見守り・声掛けなどの福祉活動	55	82.1%
4. 青少年育成事業(子ども会運営、クリスマス会等)	26	38.8%
5. 地域の清掃やごみステーション管理などの環境美化	34	50.7%
6. 住民交流事業(忘年会、新年会、夏まつり)	48	71.6%
7. 文化活動(歴史、文化、美術、手芸等のサークル活動)	18	26.9%
8. 体育事業(運動会、軽スポーツ大会等)	29	43.3%
9. 人権啓発	17	25.4%
10. その他	7	10.4%
未回答	0	0.0%
合計	316	471.6%

「高齢者などの見守り・声掛けなどの福祉活動」「住民交流事業(忘年会、新年会、夏まつり)」という意見が突出しており、回答率が7割以上となっている。現在行っている活動を将来も継続して、実施したいと考えている区が多い。

問6 その他、将来にわたって湯梨浜町が持続可能なまちであるために、行政に望むことなどご自由にお書きください。
(原文のまま記載しています)

企業誘致等、働く場所の確保を行い人口増加を図っていただきたい。
高齢化社会について住民のニーズの把握と行政の対応。福祉施策の充実強化。
湯梨浜学園の存在は大きい。他の市町から生徒が来ていることが大事。もっと町が支援してもよい。東郷中跡地の提供とか・・・町出身の大学生への援助があってもよい。他の町はしている。コロナ渦の中、何も無いのほうかと思う。町に魅力がなくなる。
湯梨浜町と各自治会が今まで以上に協力し合い、いい湯梨浜町になってほしい。
普段から区民の要望をいろいろ情報入手しておく。多いほど区民の心配がわかる。
今後も自治会活動を行っていく上での財政支援をよろしくお願いします。我が区は世帯数も多く、自治活動を行った場合、参加者が多く行事が成り立ちますが、中山間地域では区の存続すら危惧されることから、これらの対策が必要かと思われます。
地域の中心として活躍できる青少年の育成
水道水をもっと良くする
水害に備えた事業 ①町道川の所が石垣なのでコンクリートにする等の対策②JRと交差する川の暗渠排水
働きの場作り 企業誘致の積極取組みを行い、働き場所を町内に増やすことで家族・地域の活性化を行う。(通勤20分程度・自転車活用etc...) 移住地の開発 町内での分散型対応の取組み。田後地区・長瀬地区に集中化している居住地増加を泊地区(筒地～石脇・泊1区～浜山・原～宇谷・宇野～橋津)などの集合体で取組み 空き家等の支援 空き家のリフォーム費用支援。現在自宅のリフォーム費用支援を行い、1ターン・Uターン・親子2世代・3世代の家庭増加を進める。 IT化の取組 働き方改革として、町をあげてのIT化取組を行う。各家庭へのパソコン支援(購入)。役場職員のIT人材強化。働き方の自由度の支援。Wi-Fiネットの拡大支援(スマホ含む) 自然環境の地域取組 総合型・個別型の観光客拡大取組→各地域連系のテーマ化。港(泊・石脇)と温泉旅館と東郷池観光、梨狩り等→リピート客増加を考えた宿泊プランづくりと支援
いつも有難うございます。これからもよろしくお願いします。
公民館体制整備を！ ・現状として各区に公民館・公民館長・運営委員会を設置している地域と、公民館がなく区長が公民館の事務をうけおっている地域とあり、まちまちである。 ・その結果町スポーツ大会参加の地域のばらつき、従事地域で行われていた文化活動の停滞。非常に残念です。 ・今各分館に活性化推進員が配置され、各地区から運営委員が選出されていますが、各地域が動ける体制になっているかどうか点検が必要では？ ・各地域での公民館体制を整えていく指導や助言・支援が必要だと思います。
区内で高齢化が進んでいる。高齢者世帯も増加している。少しずつ世帯数、人数も減少しており、それを食いとめるかが大きな問題と 思っている。
地区が高齢化していく中で、毎年ではないが、冬場の除雪が大変な重労働になっている。部落内は道幅が狭くむずかしいと思います が、指定の道だけではなく回り道となる。別の道もありますので、そちらのほうも追加して、除雪していただければ有難いと思います。
現行の公民館体制について、数年前より公民館体制(財政支援も含め)が変わり、複数区を抱える地域公民館の活動が中途半端に なっている様に感じます。1つの区に一つの公民館(地域公民館)体制を要望。そうすることにより、地域公民館活動を地域の事情に応じ た形で運営可能となります。地域活性化推進員への手当は、区の世帯数に按分し、活動内容も区独自で企画できるのはメリットとなり ます。
持続可能な町とは、住民が住み続けたい町だと思います。湯梨浜は東郷池の県立公園、ウォーキング、温泉、梨の観光の活性化が打 ち出されていると承知していますが、町として今後の目指す方向性を分かりやすく知らせるとともに、それぞれの団体プロジェクトの単 独の取組みではなく、関わる自治会の参加を働きかけることも必要ではないかと思ひます。観光を例にとれば、松崎駅から燕趙園ま での道路、県道、町道ありますが、歩道、道路の雑草が目につきます。年に何回かの行政による除草も追いつかないと思ひます。各自 自治会の区域はどういう区域になるか、そのためには何が出来るか。最近では自宅前の草でも取る人が少なくなっています。町の方針が あり、それに参加意識を持ち、来る人にも住んでいる人にも喜んで貰うことが出来れば最高ではないでしょうか。行政には活動の音頭 取りを望みます。

<p>コロナ後の総会のあり方について三密の解釈(4㎡/1人)マスク、換気すれば何人まで可能でしょうか？</p>
<p>各地域における公民館に、役場関係(退職した方)等を配置してほしい。新任の区長となった者としては、各会議に参加してもよく理解できない。本来なら区長等で話し合い、イベント等を計画していくことが適当であるが、区長会に参加していて今の状況ではかなり難しいと感じた。生活の多様化により、昔のように活動することは現実的ではない。若い方が地域の行事に参加しない(できない)のもわかる気がする。</p>
<p>町制の均衡ある振興・発展を望む</p>
<p>道路の維持管理(町・県・農道等)</p>
<p>①「町が持続可能」の意味が(表現が)、よく分からない使い方。町中心部においては発展しているし、将来的にも湖周地域は十分維持可能と思います。但し、湖周地域に集約しすぎている。しかし、中山間地域や泊のような過疎地域においては極端な世帯減、人口減になることは目に見えている。全体を中心部と集約すれば、住民も住みやすいと思う。のと、行政もコストをかけなくて良いので、町の運営もやりやすいと思う。果たして、これで良いのかを問うべきである。②山間地域や過疎地域にインフラを整備すれば良いという問題ではなく、例えば泊小学校など特化していくべきである。英語や低学年は泊小(分校にしてでも)という具合に存続も検討されたい。③高齢化しても住みやすくする方策を考慮すべきである。赤字としてもコミュニティバスやミニスーパーなどは力を入れてほしい。</p>
<p>世帯数の減少に伴う運営費の助成</p>